



1. 17追悼行事(1年生)

阪神淡路大震災から 29 年となる 1 月 17 日、追悼行事がありました。昨年は避難訓練が行われましたが、まず、集会で、被災された先生の体験談を聞きました。報道などで見たり聞いたりするだけではわからない地震の怖さを聞いて、自分が普段どれだけ地震のことを考えずに生活しているかがわかりました。近隣の方々と日頃からコミュニケーションをとることで、もしものときに助け合いができると思いました。近年、全国各地で大地震が発生しており、自分たちの街の近くでの大地震や、30年以内に 80%の確率で起こるとされている南海トラフ巨大地震がいつ起きるか分かりません。他人事とは思わず、友達同士や家族で話し合いたいと思います。



1. 17 危険箇所点検(2年生)



追悼集会で、実際に被災された先生の体験談を通して、地震の怖さを聞いた後、各クラス6班に分かれて校内を点検しました。「危険が予想される場所」を写真を撮りながら考え、「もし学校にいる時に、地震が起きたらどうすべきか」を考えました。廊下の壁の亀裂、窓ガラスや、理科室の実験器具など、危険が予想されるところがたくさんありました。落ち着いて行動する、頭を守るなど思いつくことを書きました。地震はいつ起きるかわかりません。普段から身の回りの危険なところを意識して、まさかの時に備えて生活していきたいです。

ちいき清掃ボランティア(1年生)

1月11日6時間目に1年生がちいき清掃ボランティアに行ってきました。三つの班に分かれて道の駅あおがき、青垣住民センター、認定こども園あおがきへ行きました。道の駅あおがきでは草引きと窓ふきをしました。住民センターでは体育館と2階の廊下をモップ掛けしたり、ほうきで掃いたりしました。認定こども園に行ったメンバーは、窓ふきの前に園児たちとドッジボールをして楽しく遊びました。(写真)子どもたちも楽しそうでした。(この清掃活動は「福祉教育助成事業」の支援を受けて行っています)

